

# あんふあん 2017.12月号

## 余郷園長が掲載されました！



余郷有聰先生

神奈川県横須賀市  
学校法人津久井浜学園理事長  
津久井幼稚園園長  
神奈川県私立幼稚園連合会副会長



### 親の言葉で子どもは変わる

ママの皆さんに質問です。お子さんが一番好きな人は誰でしょうか? 「うちの子は、家で先生の話ばかりしているから先生かな?」と考える方もいるでしょう。正解は、「先生」ではありません。お子さんが一番好きな人は「お母さん、お父さん」です。叱られても大好きな人は「親」なのです。

子どもは、いつも大好きな親の喜ぶ顔を見たい、褒められたい、認められたいと行動します。時にわざと迷惑な行動をすることもあるでしょう。でもそれは叱られてでも「親に振り向いてもらいたい」という切なる願いからなのです。



illustration sayasans

親の言葉には驚くほどの効果があります。例えば、子どもが鉄棒にぶら下がったとき、子どもの可能性を伸ばすことができる親は、「すごいね! 鉄棒上手だね。たくさん練習すればきっと将来オリンピックの選手になれるよ! 究極ってね、応援しているよ」と声を掛けます。

しかしそうでない声掛けもあります。「だめねえ。たったの5秒しか鉄棒にぶら下がれないの?」受け止める側の子どもの気持ちはどうでしょう? 答えは皆さん、お分かりですよね。

仏教では「和顔愛語」という言葉があります。これは、「いつも和(おだ)やかな顔で愛情を持った言葉を使いましょう」という意味です。

子育ても、「和やかな顔、愛情ある言葉があふれる」そんな家庭環境が、お子さんの前向きな努力、さらなる成長につながります。さあ、今日も「和顔愛語」でいきましょう!

### 先生からの手紙

幼稚園の先生たちが  
今、ママに伝えたい  
子どものこと、園のこと。



余郷有聰先生

神奈川県横須賀市  
学校法人津久井浜学園理事長  
津久井幼稚園園長  
神奈川県私立幼稚園連合会副会長

子どもの可能性を伸ばすには

和やかな顔と  
愛情ある言葉が  
あふれる家庭環境を

